

老舗

Long-established

株式会社ごんきや

形は変えても、本質は変えない。

創業2007年、地元・宮城に根ざす老舗葬儀会社

葬儀のシンプル化が進む中、
いち早く「家族葬邸宅」を展開

1815年に創業し、宮城県内で葬儀式場や葬祭サービスを開する株式会社ごんきや。近年では葬儀のシンプル化、多様化が加速し、業界も大きな変化のタイミングを迎えており、同社では「差別化ではなく独自化」という考え方のもと、新しい形の葬儀サービスを提供している。8代目の佐藤知樹氏は、「他社との差別化ではいたちごっこになってしまふ。200年以上やってきた当社ならではの強みを大事に、お客様のニーズに応えながら変革していく」と話す。

同社では「独自化プロジェクト」として、社内で新規事業の議論を行っている。そこから生まれたサービスの1つが、宮城県内に4店舗展開する家族葬向けの貸切式場「家族葬邸宅du:e®」(以下デュエ)だ。

「今後はシンプルな家族葬が主流になるとと考え、当社では数年前から準備を進めてきました。業



「家族葬邸宅du:e®(デュエ)」。式場ヒリビングがつながっており、自宅のようにくつろげる

株式会社ごんきや
代表取締役社長
佐藤知樹(さとう・ともき)

1975年生まれ。2000年、株式会社ごんきやに入社。2015年、8代目として代表取締役社長に就任。現在、全国法人会総連合・青年部会連絡協議会会長、利府松島商工会副会長、仙台ロータリークラブ青少年IA委員会委員長などを務める。

葬儀のシンプル化が進み、火葬式も増えるでしょう。しかし、葬儀の形が変わっていこうとも、葬儀の本質は残していくべき。皆様が理想の形で故人とお別れができるよう、これからも心を込めてサービスを提供していきます」



社内で終活専門チームを立ち上げ、終活を通して生きる意味を伝えるセミナー活動も実施。地域貢献の一環として地元中学校でも講演した

